

教育進化のための改革ビジョン

現在進行中

- ・一人一台端末の実現
- ・小学校35人学級の計画的整備
- ・教員免許制度の見直し



■新型コロナウイルス感染症を契機として

- ・デジタルが持つ学びにおける可能性の提示、学びの在り方の変容
- ・学校の持つ福祉的機能や教師の存在意義、リアルな体験の持つ価値の再認識

2つの基本理念と4つの柱

誰一人取り残さず個々の可能性を最大限に引き出す教育

・**教職員が安心して本務に集中できる環境**

～「令和の日本型学校教育」答申内容の具体化～

- ☑ 「リアル」×「デジタル」の最適な組合せによる価値創造的な学びの推進
- ☑ これまでの学校では十分な教育や支援が行き届かない子供への教育機会の保障
- ☑ 地域の絆を深め共生社会を実現するための学校・家庭・地域の連携強化
- ☑ 教職員が安心して本務に集中できる環境整備

今後の施策展開の方向性

同一年齢で同一内容を学習することを前提とした教育の在り方にとらわれず、これまでの日本型学校教育の優れた蓄積も生かして、**個々に最適な学びを提供**するとともに、地域や企業とも連携し、**学校内外での豊かな体験機会を確保**するため、以下の施策に重点を置いて検討。

○個別最適な学びと協働的な学びの日常化

- ・全ての子供に対する、**幼児期からの学びや生活の基盤を育む質の高い教育**の提供
- ・**デジタル教科書**等を活用した学びの充実
- ・**授業時数の弾力化**や、**学年を超えた学び**の検証・開発（研究開発学校、その他の特例制度も活用）

○特別な指導や支援が必要な子供への学びの場の提供

- ・特別なニーズのある子供（障害、不登校、特異な才能、日本語指導等）やへき地の子供を対象とした**オンライン**等を活用した**教育・支援**の充実
- ・**特別校の設置促進**などによる、通常の学校だけでは十分な教育、支援が届かない子供への学びの場の確保
- ・学校内における個々のニーズに応じた**取り出し指導**など**柔軟な指導**の実施（障害、特異な才能、学習の遅れ、日本語指導等）

○全ての生徒の能力を伸長する高校教育の提供

- ・発達障害や不登校経験者など**多様な高校生への支援**と通信制高校の質保証
- ・普通科改革等による**地域・大学・企業等と連携した探究・STEAM教育**、**デジタル人材**など**専門高校と産業界が一体となった人材育成**
- ・**対面指導と遠隔・オンライン指導**の最適な組み合わせ

○質の高い教職員集団の形成

- ・**免許制度改革や勤務形態の柔軟化**などを通じた、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成
- ・**教職課程の見直し**、**教員養成大学・教職大学院の機能強化**・**高度化**
- ・**教員勤務実態調査**や**35人学級の効果検証**を踏まえ、**給与・処遇**、**多様な専門人材・支援スタッフを含めた教職員の配置**の在り方の検討

○地域や企業の力を巻き込んだ学校運営や「リアルな体験」機会の充実

- ・**全ての学校でのコミュニティ・スクールの導入を加速**（重点期間：令和4～6年度）し、地域に開かれた学校運営の実現と防災活動等での学校・地域の連携強化
- ・**地域や企業と学校が連携した形での学習支援や、起業家との触れ合い、豊かな体験機会**の提供
- ・**地域や企業と連携し全ての子供に学校内外での体験活動**の定着（異年齢集団での地域活動、職業体験、ボランティア、自然・文化芸術体験、読書等）や課題を抱える子供たちを対象とした体験活動の充実

➡ **経済界との直接対話により強力に推進**

○教員研修の高度化、働き方改革の実効性を高める観点からの環境整備

- ・デジタル技術の活用を含めた**教員研修の更なる高度化**や**教師のICT活用技術の向上**
- ・**校務の情報化**をはじめとする学校における**働き方改革**を具体化する抜本的方策を検討

➡ **学校DX推進本部を設置し強力に推進**

（※本部長：文部科学大臣）

※上記の取組と連動して、教育と社会の接続の多様化・柔軟化を推進する観点から、大学の機能強化、学びの支援、リカレント教育の推進についても教育未来創造会議において検討